



大野やすし市政報告



〒343-0806 越谷市宮本町1-94-3 電話/FAX 048-940-0155
携帯 080-3300-8100 アドレス y.ohno2335@themis.ocn.ne.jp

3人以上の集まりがあれば市政報告に伺います。連絡ください。

議案案等の概要

◎37本の市長提出議案はすべて可決。主なものは以下のとおり。

- ◆介護保険条例の一部改正
▽平成24～26年の介護保険料を見直し、基準額を2990円から4100円に値上げ。4月1日施行。

▼今回の改正で、埼玉県平均は4679円。厳しい財政事情も含め、やむを得ないと判断しました。



↑準備中の成人夜間急患診療所

越谷市議会3月定例会(2/23～3/16)の概要をお知らせします。議会では市長提出議案37本、議員提出議案1本、請願1本などを審議しました。

私は、新人としては大変名誉なことに、以下5項目について、代表質問をさせて戴くとともに、予算特別委員会の委員として、24年度予算案の審議に参加させて頂きました。

市政に関する「ご意見・ご要望」を、遠慮なく、お聞かせください。

- ◆小児夜間急患診療所設置及び管理条例の一部改正
▽24年度、旧看護学校跡地に開所予定の成人夜間急患診療所の管理について同条例に盛り込み、条例名を「越谷市夜間急患診療所及び管理条例」に改正。↓なお、開所は4月20日からで内科のみ。受付午後7時30分から10時30分まで。

◎特別委員会の設置について

- ◆公共交通網整備推進特別委員会の設置

予算案の概要

◎平成24年度歳出歳入概要

- ◆一般会計820億円(対前年比1.2%減)、特別会計市621億円(7.0%増)、病

院事業会計113億円(2.2%増)、総額1554億円(2.2%増)。税収が伸び悩み、国、県の支出が減少する分を市債の発行増で補い、民生費、衛生費が伸びていく状況です。



↑予算書及び説明書

◎主な新規事業等(予算額)

- ◆市民活動支援センター管理運営事業(111,770千円)
- ◆出羽地区センター・公民館整備事業(197,070千円)
- ◆保健所整備(設計・解体工事)事業(367,730千円)
- ◆地域防災計画の修正及び震災用業務継続計画策定(41,202千円)
- ◆大袋及び荻島保育所整備事業(509,100千円)▽低年齢児の受入れ枠拡大
- ◆出羽、城ノ上児童保育室の2室化(75,000千円)
- ◆谷中分署用地測量(2,100千円)

◆緊急サポートセンター事業(1,900千円)▽子どもの病気や緊急の預かりに対応した相互援助環境の整備

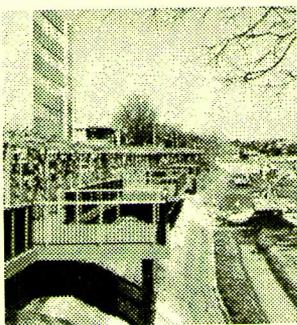
代表質問の概要

◎以下の5項目について、会派を代表して質問しました。

1 越谷市の活性化

(問1)観光振興など越谷市の産業振興策について伺う。

(答1)「こしがやブランド」などを24年度は越谷駅東口高架下物産展示場等での展示販売を検討するとともに、越谷駅再開発ビル内の観光物産情報コーナーや葛西用水沿いのウッドデッキでのイベント、集団的いちご観光農園の整備などを通じて振興していく。



↑葛西用水沿いウッドデッキ

中心市街地活性化

(問2) 24年度に基本計画をまとめる予定の中心市街地活性化の取組と今後のスケジュールについて伺う。

(答2) これまで、地元の主体的参加によるまちづくりが不可欠との観点から取組んできた。今後、地元の方々のご意見等を踏まえ、本年8月頃を目途に計画案をとりまとめ、25年3月の内閣府認定を目指していく。

▼基本計画は今年の夏までに地元の考えをしっかりとりに伝えることが重要です。

2 子育て支援

(問) 平成23年度の待機児童は41人だが、いわゆる入所希望児は489人おり、そのうち0、1、2歳の低年齢児で80、1%の401人を占めている。また、駅近マンションの建設も進み、駅近の保育ニーズはますます高まっている。このため、市のこれまでの努力に加えて、

保育所、家庭保育室などの保育施設の一層の充実強化が必要だが、市長の考えを伺う。



(答) 公立保育所は建替えにより低年齢児の定員増を図り、空白地域には民間活力を利用した保育所の設置を図っており、23年度は88名の定員拡大を図ったところ。また、家庭保育室についても23年には31か所と、2年間で約5割増えしており引き続き支援していく。

▼保育体制の一層の充実強化を引き続き求めていきます。

3 教育施策

(問1) 来年度から中学校で武道が必修化され、ほとんどが柔道を選択するときにいる。柔道の安全対策について伺う。

(答1) 教員の実技研修会の実施や専用マットを配布するなど、生徒の発達段階や個人差に応じた段階的な無理のない指導を行っていく。



HP 画像より掲載

(問2) 24年8月に越谷を会場として行われる全国中学校剣道大会の準備について伺う。

(答2) 越谷市教育委員会は、市内中学生中心に約320名のボランティアとともに、大会運営を支援していく。

4 安全安心まちづくり

(問) 東日本大震災を踏まえた地域防災計画の見直し及び市の災害対応能力の向上を図るため業務継続計画の策定を行うとのことだがそのスケジュール及び方法について伺う。



「みんなで体験! 防災フェス」

(答) 地域防災計画については県や国の修正等を踏まえるとともに多くの方の意見を取り入れ修正を図る予定である。また業務継続計画については、業務を3つに区分し、3時間以内、1日以内、7日以内などの開始目標を定める予定である。

▼本場に役立つ計画と緊急時に働く職員がポイントです。

5 行財政改革

(問) 市が目指す27年度中核市移行及び保健所設置に向けての準備の状況及び併せて行うべき庁内改革について伺う。

(答) 中核市移行については昨年8月に基本方針を示し、移譲事務等について県と協議を開始した。また、保健所業務について専門職員の採用、配置等について検討を始めた。庁内改革については第5次行革や行政評価制度を活用して適切に進めていく。

▼庁内改革の効果は、よく見えません。市では平成17、22年の5年で137人の職員削減を行ったのに、税収伸び悩みのなか、23、24年の2年で147人の増員予定です。行財政改革、引き続き、注目していきます。

☆越谷市議会のHPから、代表質問の録画映像が確認できます。ご覧下さい

☆ツイッター@papago2165 フェイスブック始めました。興味ある方は探してみてください。

中核市たより特別講演会
「中核市と地域自治」